

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)

《 第57号 》 (2018年度)

了佐てらこや小学校

シリーズ
よえもん



「論語」為政第二

書 淵田瑞穂さん

先ず
その言を行
而る後
之に従う

今年も夏休みに了佐てらこや小学校を開校し、論語の素読や習字、科学体験、物作り、郊外学習を行いました。

郊外学習では、鴨稻荷山古墳、高島歴史民俗資料館、大溝城遺跡へ行きました。なかでも大溝城は藤樹先生のおじいさんの吉長が、36歳の時、農業をやめて武士になり、近くのお殿様(加藤光泰)に仕えたお城です。文化財課の皆さんから貴重な話を聞きました。



鴨稻荷山古墳の石棺



高島歴史民俗資料館



大溝城遺跡



大溝城にともなう土橋

「人に言おうとすることを先ず自分が実行してから、人にものを語るべきである」という意味です。

何ごとも自分から模範を示すことが大切です。言葉は実践を伴ってこそ力を持つと言われます。

中江藤樹先生の「知行合一」の教えを実践していきたいものです。



* 記念館だより *

中江藤樹記念館では、8月に実施しました「了佐てらこや小学校」の学習の成果を発表する場として、子どもたちの論語毛筆作品展を当記念館の講義室にて、9月12日まで開催しています。(月曜日は休館日です)

開館時間内(9時~16時30分)はいつでもご覧いただけます。団体予約などで会場利用時は少しお待ちいただく場合があります。頑張って仕上げた子どもたちの作品を多くの人にご覧いただければ幸いです。



みんなで大きなさくひんづくり

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330